

# 2023年2月期 第1四半期決算補足資料

JNSホールディングス株式会社  
2022年7月14日



JNS I : JNSグループ事業概要

---

## 経営理念

～“Technology”と“Creativity”で未来を創る～

### ライフデザイン事業 (LD)

知育・教育、健康、マネー、エンターテインメント等におけるデジタルテクノロジーを活用したライフデザインサービスの提供

DX Technologyをベースに  
3つの事業にフォーカス

### コネクテッド ソリューション事業 (CS)

深圳のサプライチェーンを活用したコネクテッドデバイスの企画/開発/製造とデバイス・クラウド・ネットワーク一体型ソリューションの提供

### ビジネスイノベーション事業(BI)

ソフトウェア開発、システムインテグレーション、AI、クラウド技術等を活用したビジネスイノベーションを実現するソリューション&サービスの提供

ハードウェア・ソフトウェア・コンテンツを網羅する  
JNSグループならではのDX Technologyを活かして事業を展開

### CharaTech

キャラクターコンテンツ

### EdTech

キッズアプリ 教育コンテンツ

### 法人向けICT製品

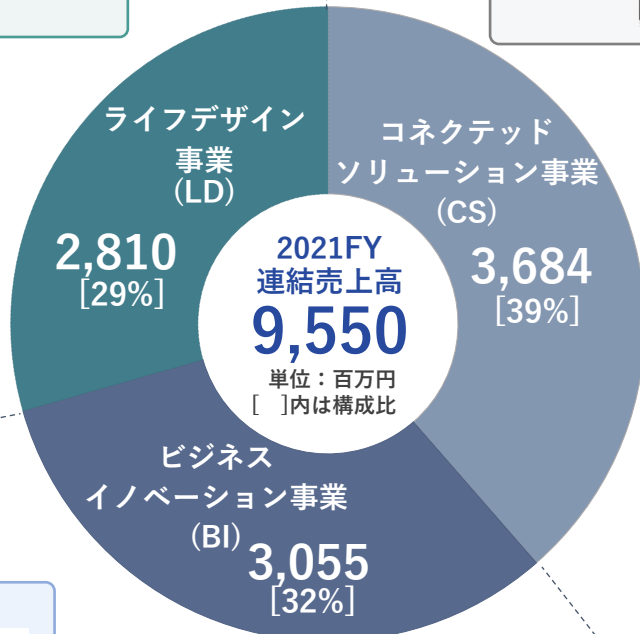
### HealthTech

歩数計アプリ  
**RenoBody**

ヘルスケアサービス

### FinTech

プリペイド決済サービス



### 各種IoTデバイス

GPS・見守り      スマートロック製品  
スマートディスプレイ

etc...

### 大手法人向けソリューション案件

aws partner network  
salesforce registered consulting partner  
cybozu Official Partner Consulting

空運      保険      メディカル

### BXサービス

OfficeBot 即戦力AIチャットボット  
SMARTアドレス帳

### 「POCKETALK」シリーズ

etc...

etc...

## JNSホールディングス

グループ経営管理・新規事業開発



### コネクテッドソリューション事業 (CS)

# JENESIS

創世訊聯科技  
(深圳)有限公司

創紀精密科技  
(深圳)有限公司

ICTおよびIoT製品等の開発、販売  
製造受託、カスタマーサポート

### ビジネスイノベーション事業 (BI)

solution company



情報通信サービスおよび  
ソフトウェア、コンテンツ開発

### ライフデザイン事業 (LD)

content service  
company



FinTech PJ



情報通信サービスおよび  
ソフトウェア、コンテンツ開発



オフショア開発

開発技術本部

クラウドデザイン部



国内開発



コンテンツ制作

## JINS II : 2023年2月期第1四半期 決算概要

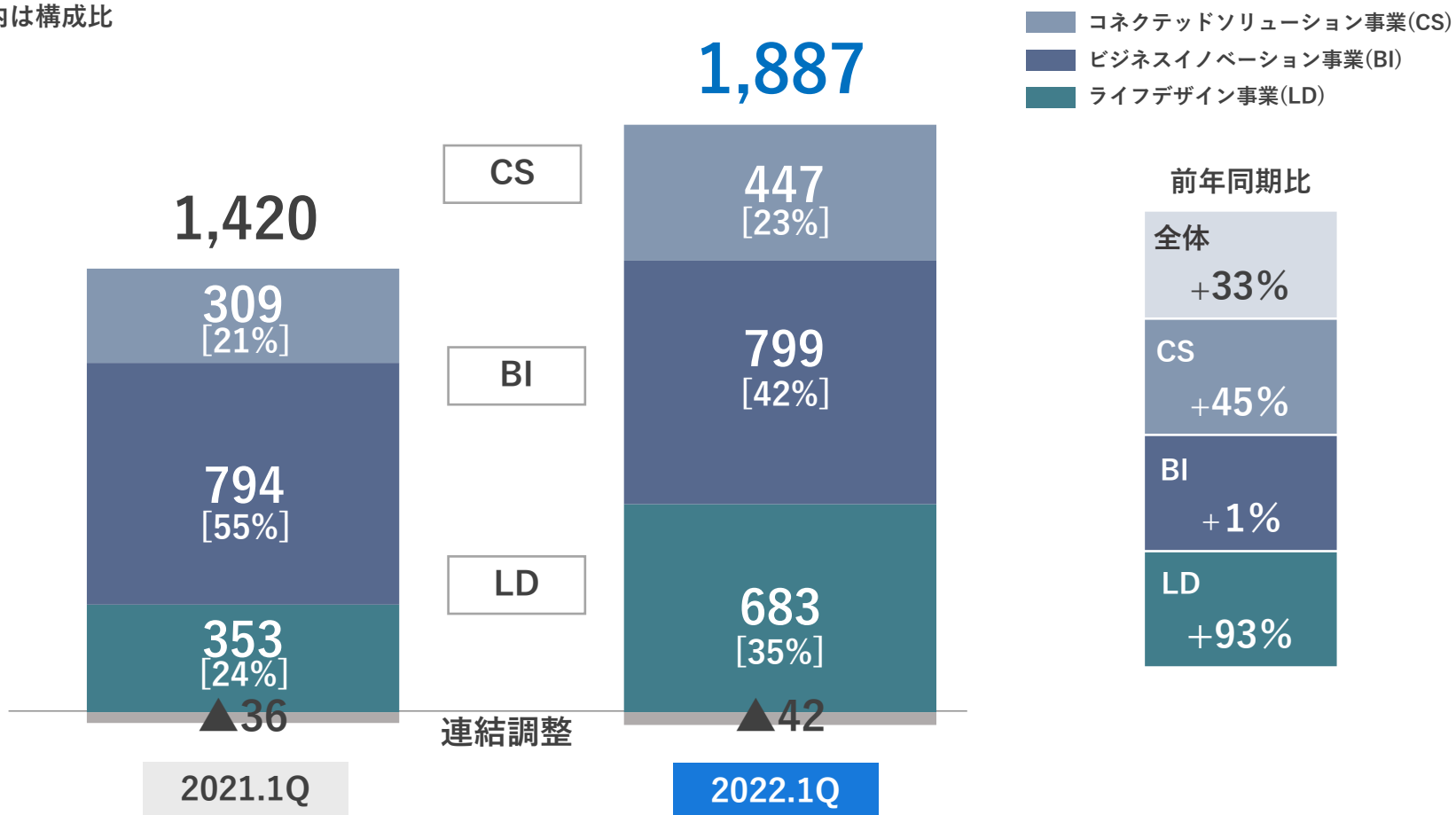
---

- ◆前年同期比で売上高は33%の増収、営業利益+63百万円／経常利益+153百万円の増益
- ◆急激な円安によりデバイス関連のセグメント利益＝営業利益にインパクトがあったが、為替予約の対策等により経常利益は2百万円の黒字で着地

単位：百万円	2021.1Q	2022.1Q	前年同期比	
			百万円	%
売上高	1,420	1,887	+467	+33%
総利益 (%)	538 (38%)	676 (36%)	+138 (▲2%)	+26%
販管費 (%)	643 (45%)	718 (38%)	+75 (▲7%)	+12%
営業利益 (%)	▲104 (－)	▲41 (－)	+63 (－)	－
(為替差益)	(4)	(45)	(+41)	－
経常利益 (%)	▲151 (－)	2 (0.1%)	+153 (－)	－
親会社株主に帰属する 当期純利益 (%)	▲133 (－)	▲14 (－)	+119 (－)	－
ROE	▲2.6%	▲0.3%	▲2.3ポイント	

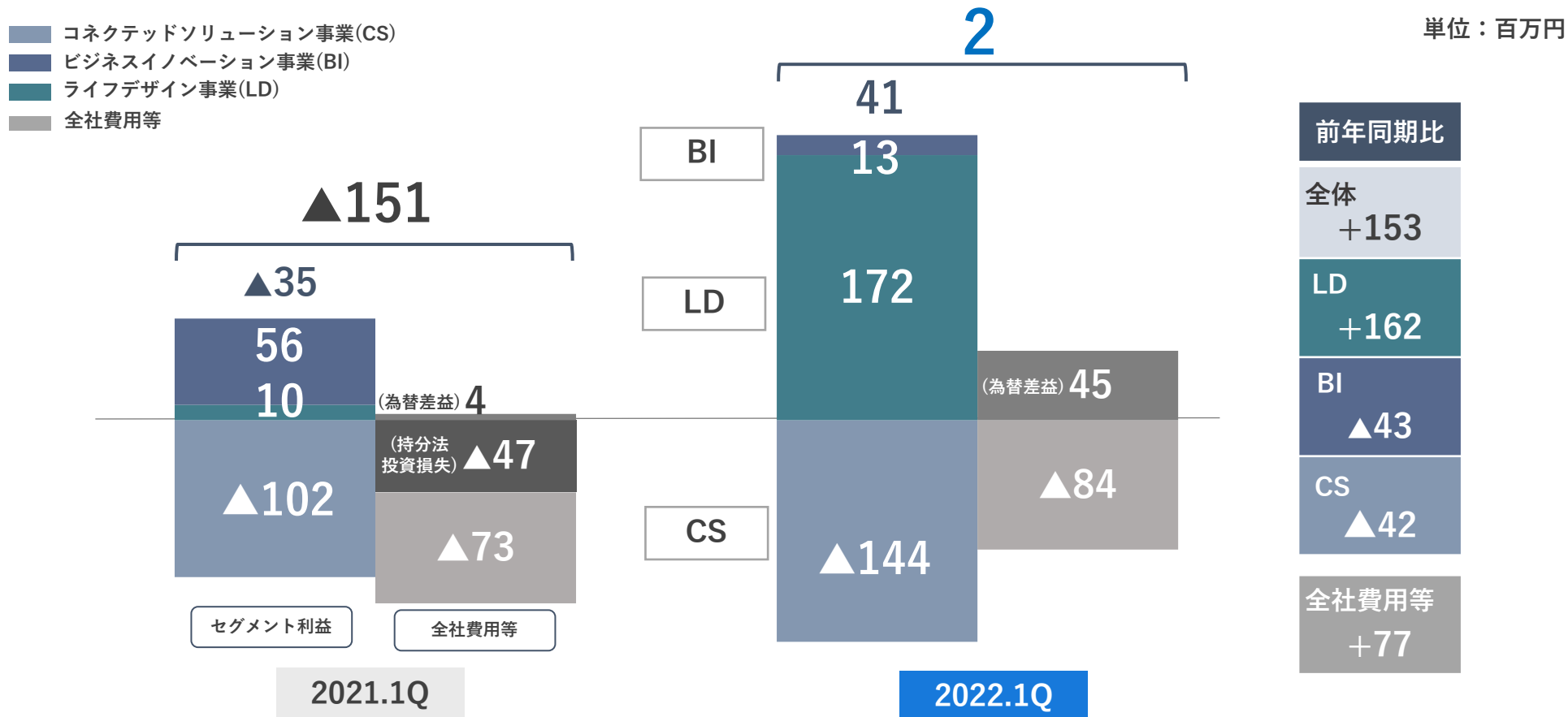
- ◆5月に発売したNintendoSwitch「クレヨンしんちゃん『オラと博士の夏休み』」(オラ夏)アジア版の出荷が好調に推移、LD事業が前年同期で約2倍に
- ◆中国ロックダウンに伴い深圳工場が一時操業停止を強いられるも、IoT関連の堅調な需要により、CS事業も前年同期比で4割以上の増加

単位：百万円 [ ]内は構成比



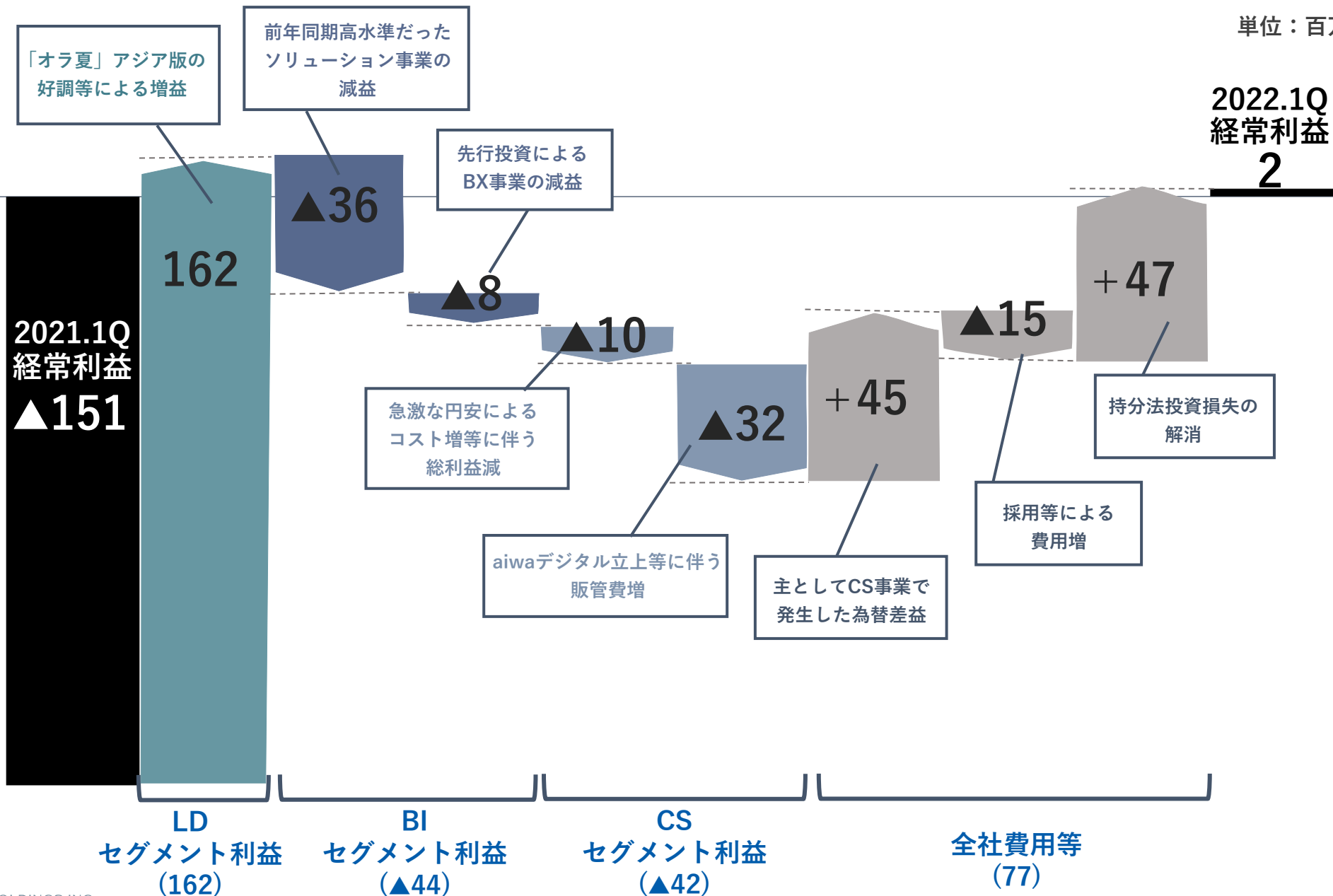


- ◆「オラ夏」アジア版の好調等によりLD事業が大幅な増益
- ◆BI事業はソリューション事業の前年同期が高水準だったことに加え、自社事業への販売投資の先行により減益
- ◆CS事業は為替インパクトに加え、aiwaデジタル市場投入に向けた販売体制強化費用等によりセグメント損益は減益となったが、為替予約等の対策により為替差益を計上



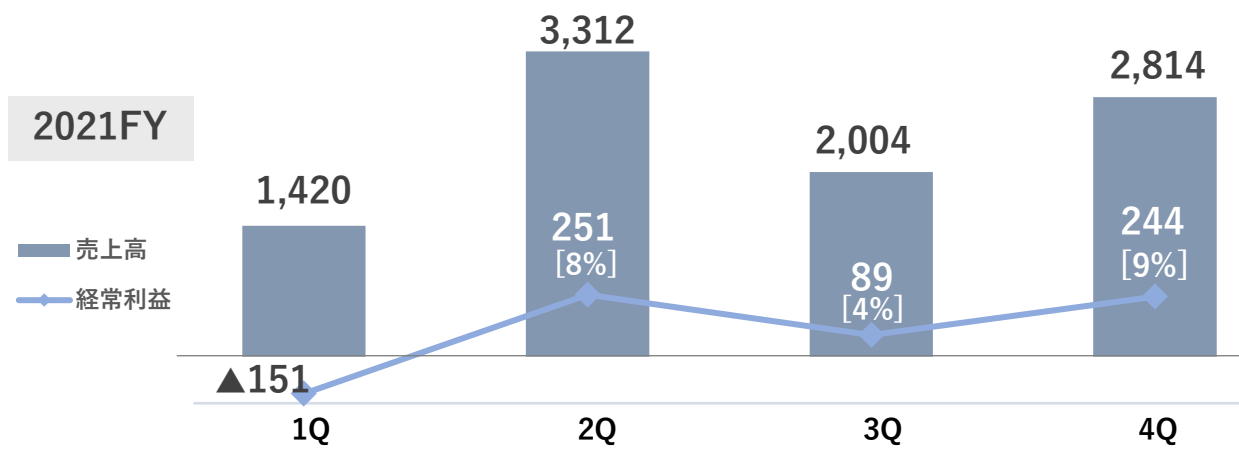
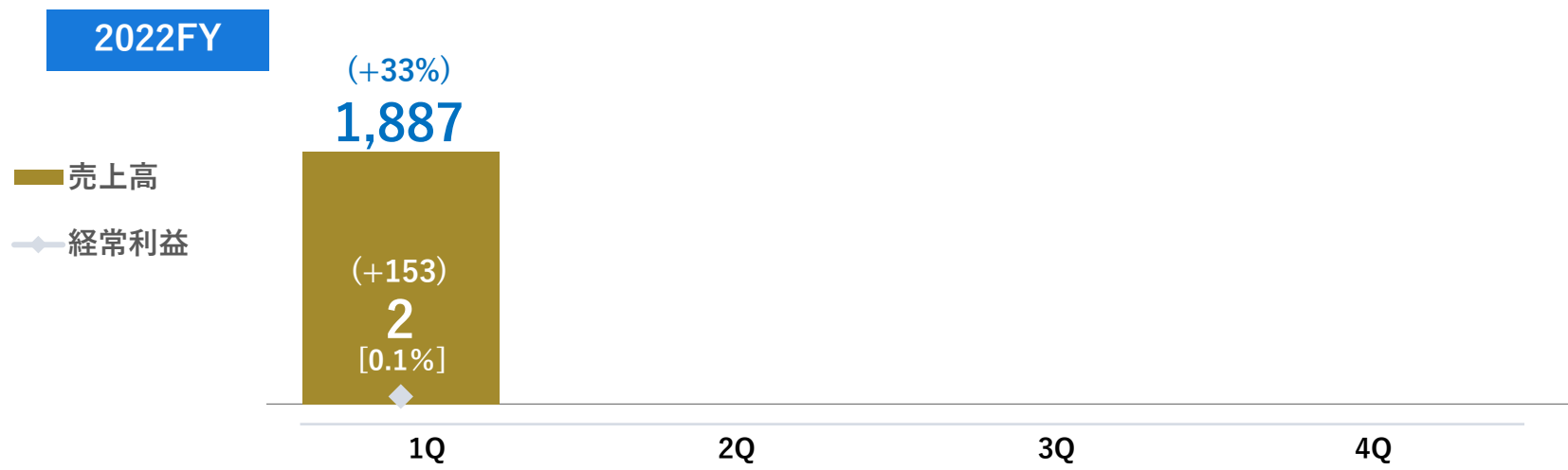
# 経常利益増減要因 (対前年同期比)

単位：百万円



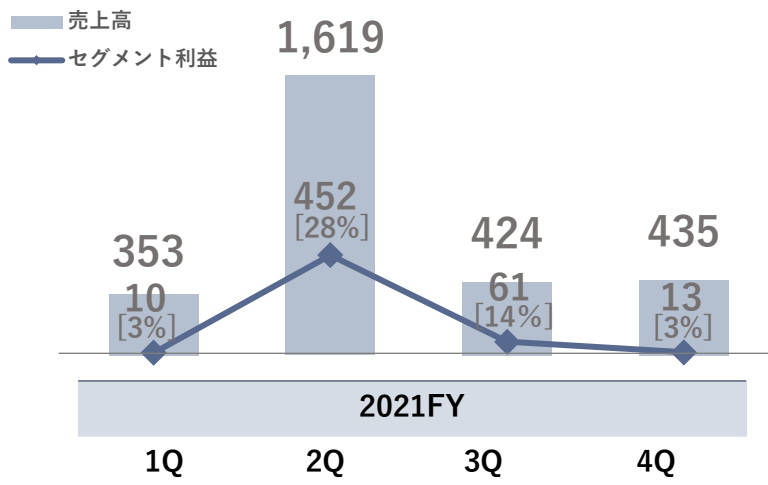
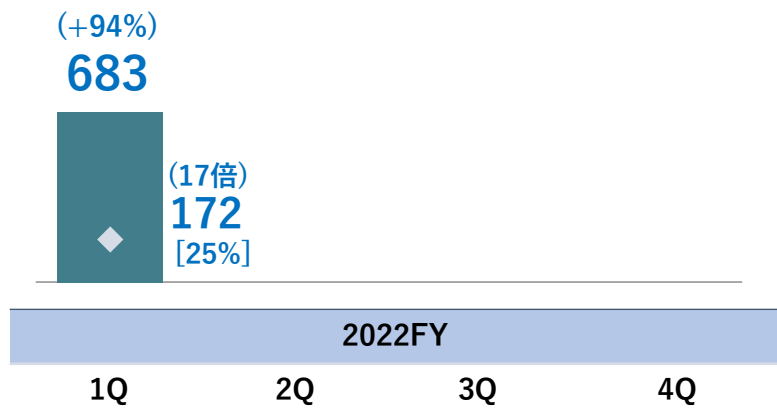
1Qの前年同期比は、ライフデザイン事業の好調等により  
33%の増収、153百万円の経常増益

単位：百万円 ( ) 内は前年同期比 [ ] 内は利益率 ※マイナスの場合は省略



単位：百万円 ( ) 内は前年同期比 [ ]内は利益率 ※マイナスの場合は省略

■ 売上高  
◆ セグメント利益

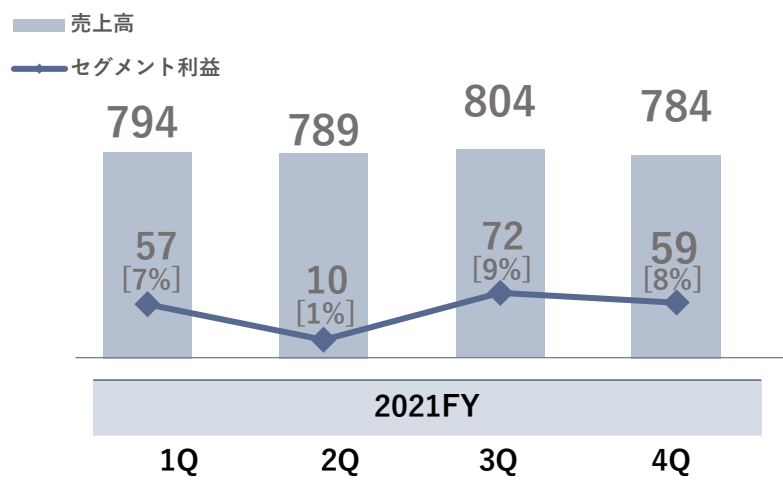
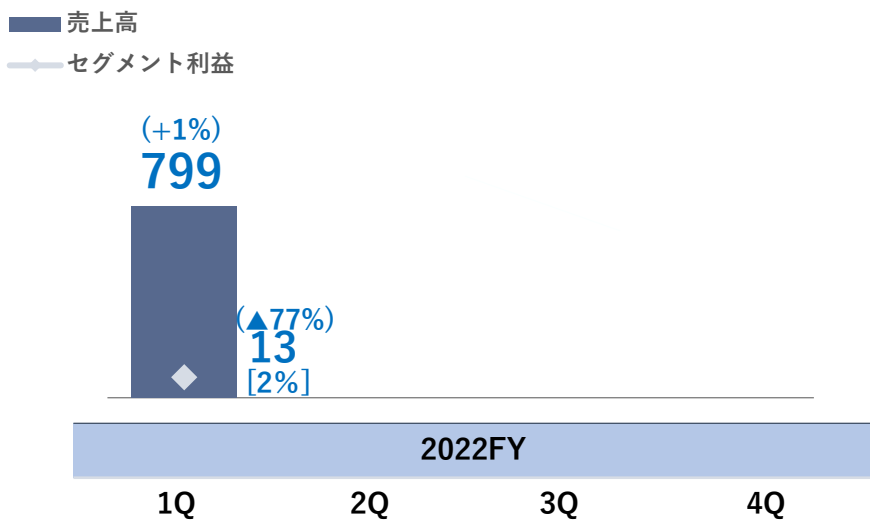


## 2022FY 1Qサマリー

「オラ夏」アジア版の好調な滑り出しに加え  
各Techサービスも順調に推移し  
大幅な増収増益

- ◆韓国、台湾、香港等のアジア地域向けに「オラ夏」フルローカライズ版を5月に投入、予想を上回る反響で好調なスタート
- ◆知育・教育コンテンツ、ヘルスケアサービス、プリペイド決済サービスともwithコロナ、DX機運を背景に順調に拡大

単位：百万円 ( ) 内は前年同期比 [ ]内は利益率 ※マイナスの場合は省略

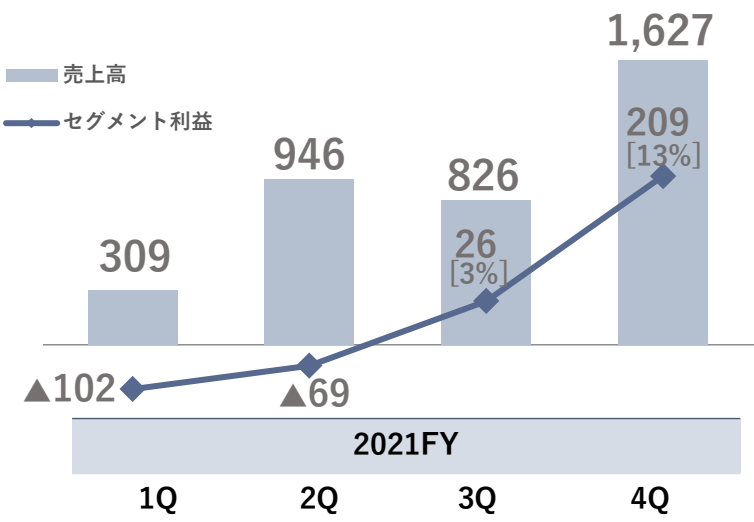
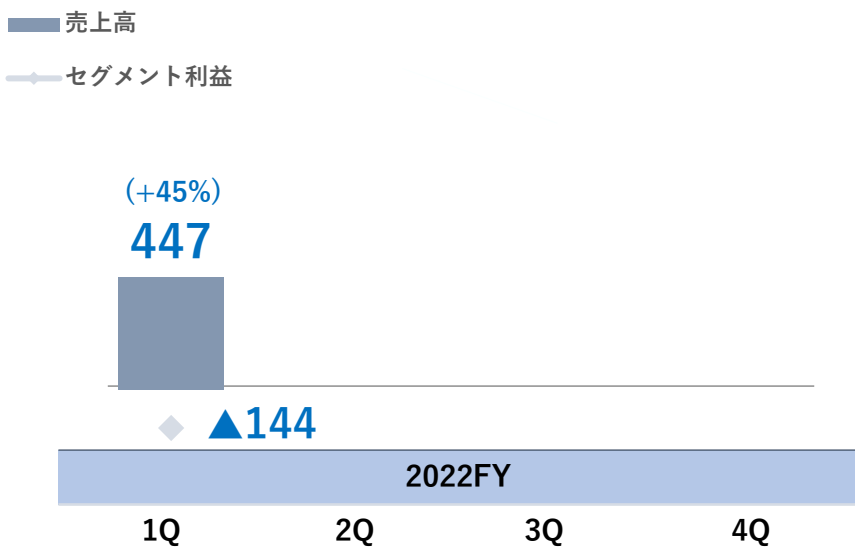


## 2022FY 1Qサマリー

自社事業は拡大継続するも  
ソリューション事業減収により  
全体としては減益

- ◆ 自社事業として展開しているBXサービスは増収基調継続。更なる拡大に向け開発、販売体制の強化を推進中
- ◆ ソリューション事業はリアル企業のDX案件は順調に推移するも、前年同期好調だったベンチャー向け等のデジタルサービス案件が減少

単位：百万円 ( ) 内は前年同期比 [ ]内は利益率 ※マイナスの場合は省略



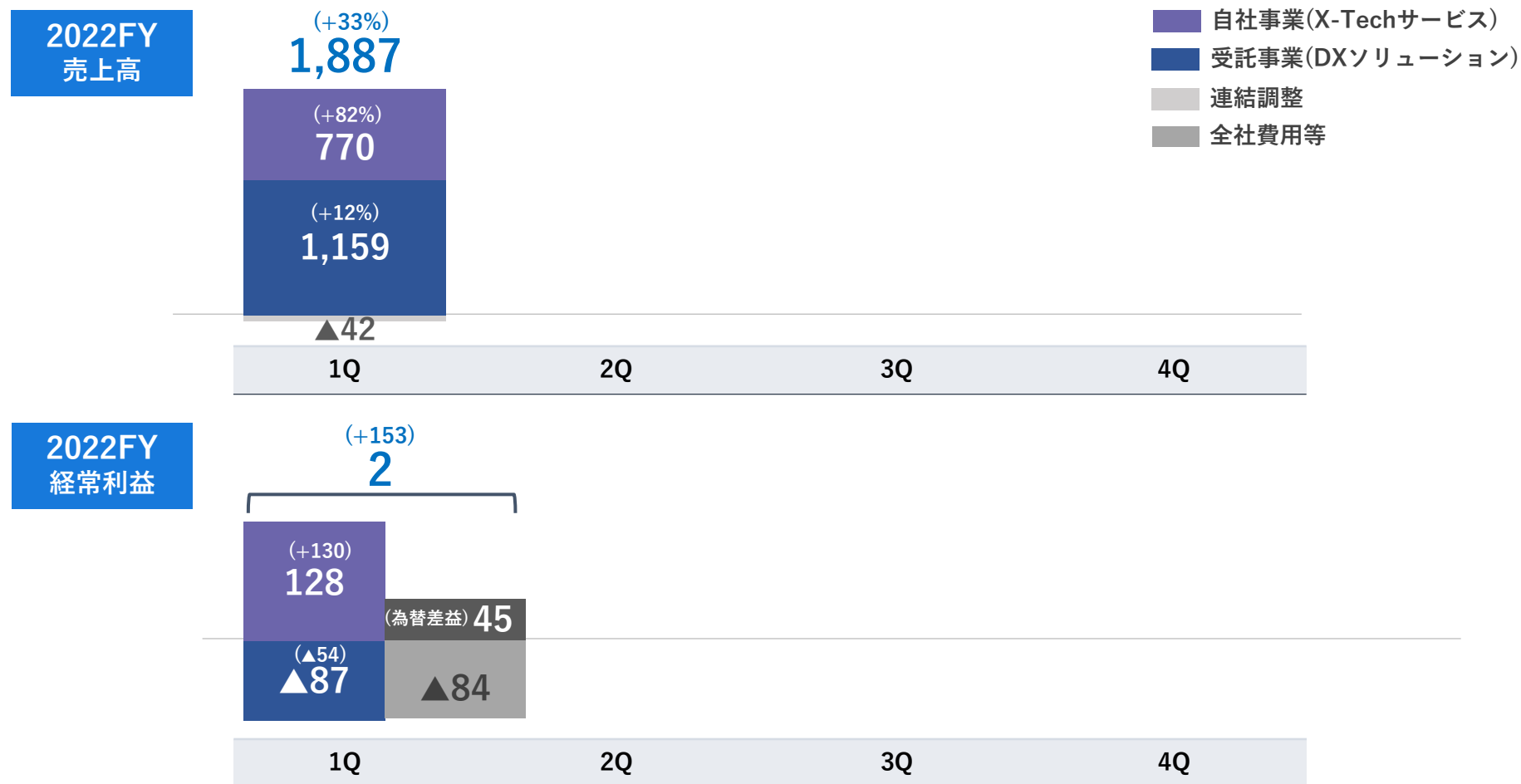
## 2022FY 1Qサマリー

**売上高は前年同期増収で推移  
円安による原価上昇、自社事業導入に向けた  
販管費増によりセグメント利益は減益**

- ◆中国・深圳の工場がロックダウンの影響で期初操業停止するも、需要が堅調なIoTサービス向けデバイスを中心に生産を拡大、前年比増収
- ◆急激な円安元高による原価上昇によりセグメント損益は減益となるが、為替差益を加味した既存事業での実質損益は改善。aiwaデジタル事業導入に向けた販管費の発生

- ◆売上高は自社事業、受託事業ともに二桁の増収
- ◆受託事業のセグメント利益がデバイス関連の損失計上によりマイナス
- ◆自社事業はライフデザイン事業の利益拡大により大幅な増益

単位：百万円 ( ) 内は前年同期比



# 貸借対照表概況

## 資産関連

- ・ 納税、賞与支給等による現預金の減少
- ・ 部材等の仕入に伴う前渡金の減少と部材在庫及び仕掛品の増

## 負債関連

- ・ 未払法人税等及び賞与引当金の減と借入金の返済等に伴う負債の減少

## 純資産関連

- ・ 有価証券及び在外子会社価値の評価替えと配当金支払いにより純資産は横ばい
- ・ 結果として自己資本比率は約5%上昇

	前年度末(22/2)	当期末(22/5)	増減		前年度末(22/2)	当期末(22/5)	増減
流動資産	7,185	6,520	▲665	流動負債	1,952	1,427	▲525
現金及び預金	4,982	4,618	▲364	契約負債	100	162	+62
受取手形、売掛金及び 契約資産	1,134	853	▲281	短期借入金・1年内 返済予定の長期借入金	503	401	▲102
前渡金	291	80	▲211	その他	1,349	864	▲485
その他	778	969	+191	固定負債	1,240	1,138	▲102
固定資産	1,600	1,639	+39	<b>負債合計</b>	<b>3,193</b>	<b>2,565</b>	<b>▲628</b>
有形固定資産	245	239	▲6	株主資本(自己株式除く)	5,427	5,293	▲134
無形固定資産	267	296	+29	その他の包括利益累計額	127	258	+131
投資その他の資産	1,087	1,103	+16	新株予約権	37	41	+4
<b>資産合計</b>	<b>8,786</b>	<b>8,159</b>	<b>▲627</b>	<b>純資産合計</b>	<b>5,593</b>	<b>5,593</b>	<b>-</b>
				<b>負債・純資産合計</b>	<b>8,786</b>	<b>8,159</b>	<b>▲627</b>
				<b>自己資本比率</b>	<b>63.2%</b>	<b>68.0%</b>	<b>+4.8%</b>

単位：百万円



JINS III : 2023年2月期 業績見通し

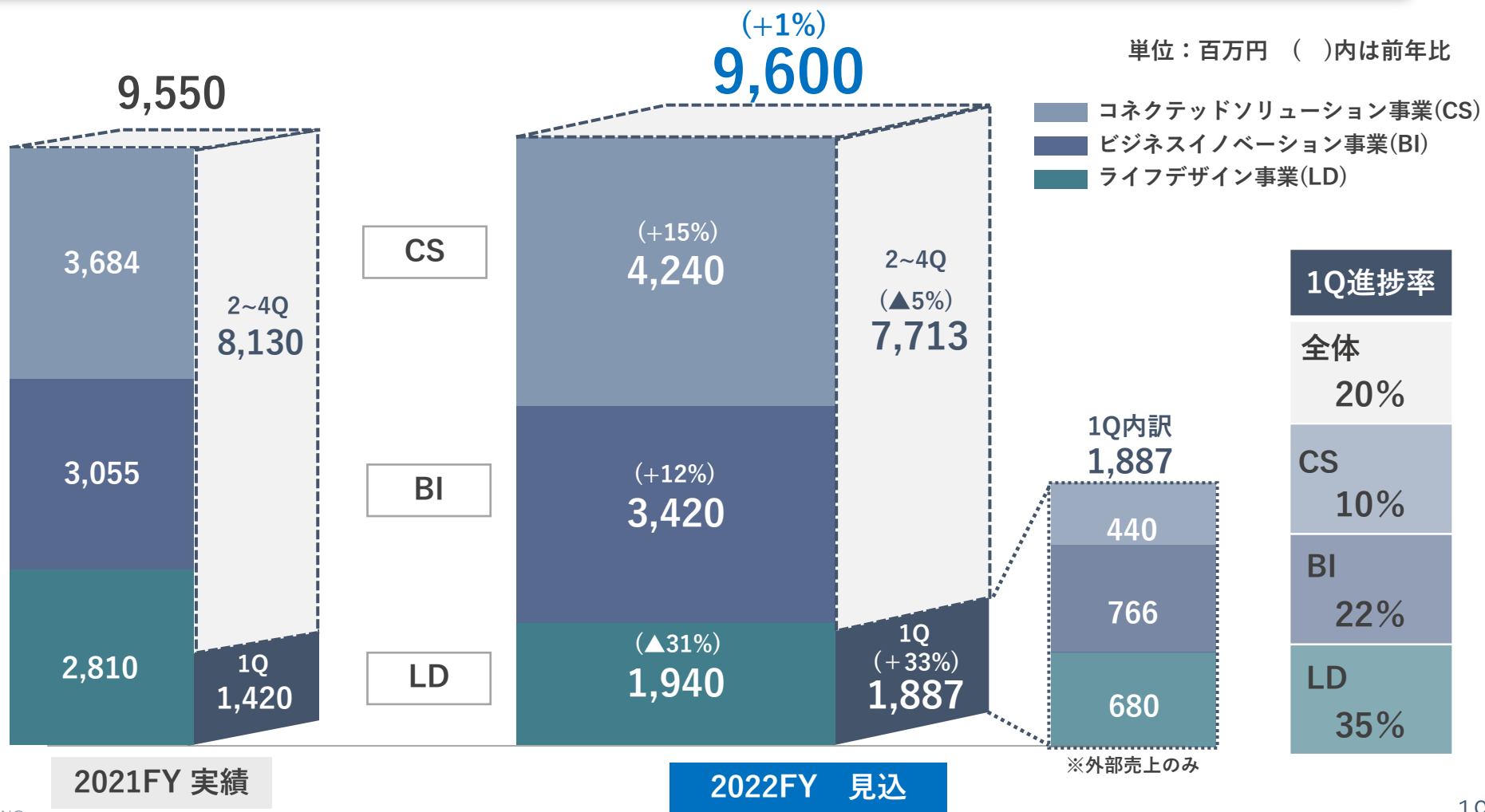
---

年間業績予想、配当予想については期首予想から修正なし

2022年度 業績予想	
売上高	96億円
営業利益	2.6億円
経常利益	2.5億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	1.8億円
配当予想	5円/株

## 1Q進捗率は全体で20%

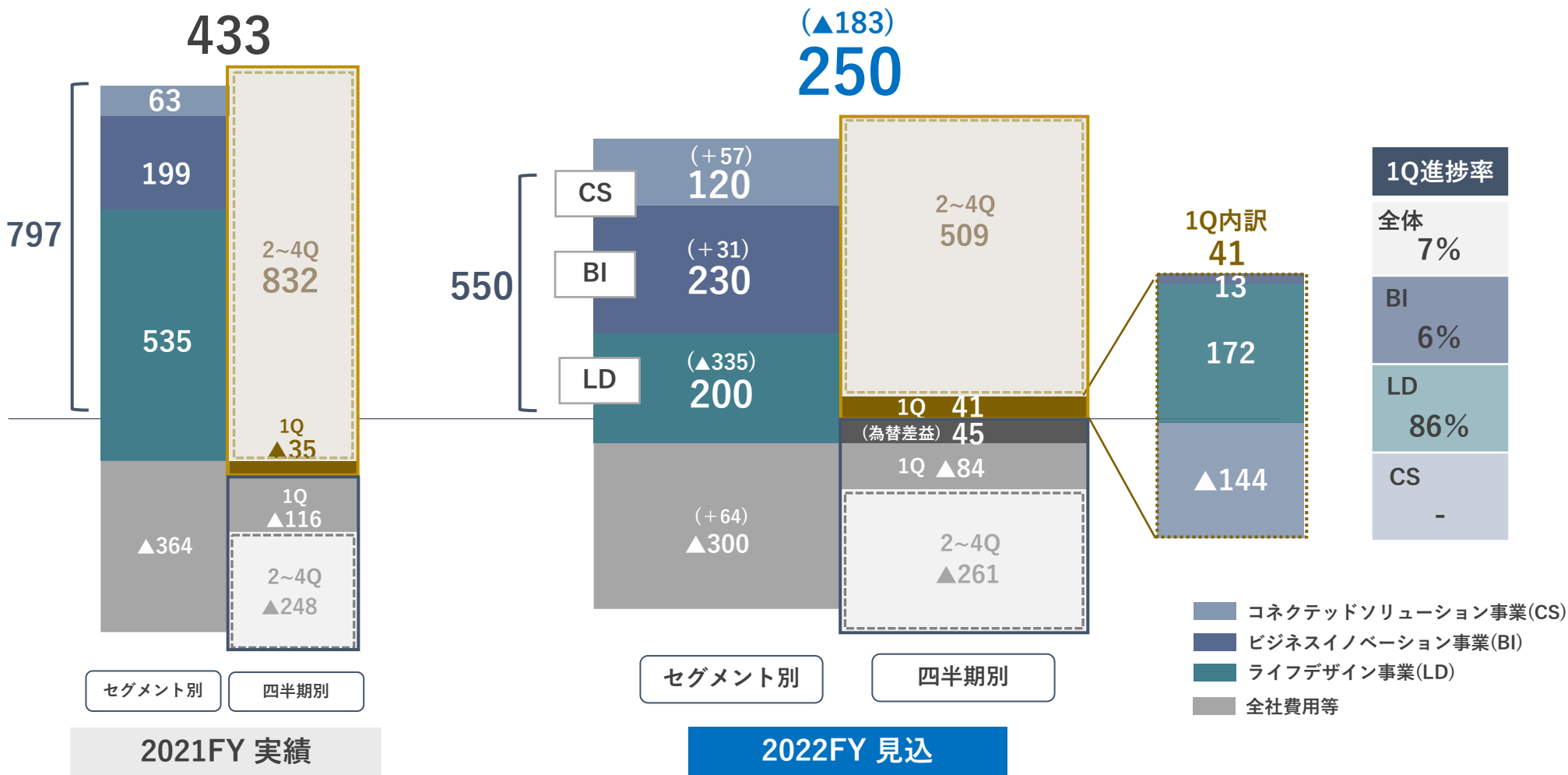
LD事業が「オラ夏」アジア版好調等により35%と高水準で進捗  
CS事業は下期偏重型のため1Qでは10%の進捗



## セグメント利益の1Q進捗率は全体で7%

LD事業が「オラ夏」アジア版好調等により86%と高水準で進捗

単位：百万円 ( )内は前年比



### ライフデザイン事業

- 「オラ夏」の多プラットフォーム化と世界展開による収益拡大と事業基盤拡充
- 各X-Techサービス(Ed/Health/Fin)の事業拡大継続

### ビジネスイノベーション事業

- ソリューション事業の事業規模と収益性の向上
- 自社事業であるBX事業の顧客拡大とプロダクト品質の更なる向上

### コネクテッドソリューション事業

- 生産規模拡大によるODM事業の利益確保
- 新規事業「aiwaデジタル」の導入と立上げ
- 部材調達施策と為替ヘッジ対策の継続

## INS III : Appendix

---

所在地	東京都千代田区神田須田町1-23-1 住友不動産神田ビル2号館10F
連結従業員数 (2022年2月末現在)	458名 (国内260名・海外198名)
設立	2004年4月
上場 (証券コード : 3627)	2008年5月 東証マザーズ上場 2012年1月 東証第一部へ市場変更 2022年4月 東証再編に伴いプライム市場へ移行
資本金 (2022年5月末現在)	2,391,580千円 発行済株式数 12,141,100株
連結子会社	ネオス株式会社 JENESIS株式会社 創世訊聯科技(深圳)有限公司 (中国) 創紀精密科技(深圳)有限公司 (中国) Neos Vietnam International Co., Ltd (ベトナム) スタジオプラスコ株式会社
決算期	2月

発行済み株式総数 12,140,400株

(+346,600)

株主数 7,489名

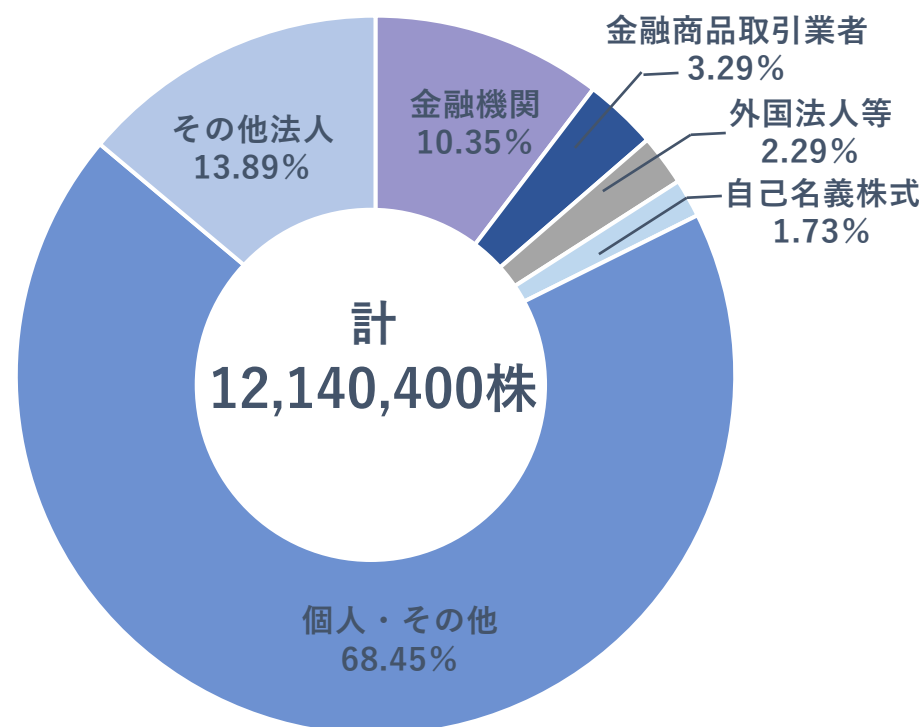
(▲75)

※( )内は対前年度末

## 大株主(上位10名)

	所有株数(株)	持株比率(%)
池田 昌史	1,877,800	15.74
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,037,100	8.69
株式会社NTTドコモ	1,020,000	8.55
シャープ株式会社	360,000	3.02
藤岡 淳一	239,400	2.01
SMBC日興証券株式会社	178,500	1.50
マケナフィールド株式会社	133,600	1.12
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	122,600	1.03
槇尾 茂樹	121,000	1.01
川村英夫	114,000	0.96

## 株式所有者別分布







creating the future  
with  
**Technology & Creativity**

“テクノロジー”と“クリエイティビティ”で  
未来を創る

JNSグループがもつ  
イノベーティブなテクノロジーとクリエイティビティで  
社会の発展と未来に貢献してまいります

 **IR** メールニュース  
【購読無料】

当社IRに関する最新情報を  
タイムリーにお届け致します  
<https://www.jns.inc/ir/>